

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成18年6月8日(2006.6.8)

【公開番号】特開2002-101167(P2002-101167A)

【公開日】平成14年4月5日(2002.4.5)

【出願番号】特願2000-290421(P2000-290421)

【国際特許分類】

H 04 M	1/00	(2006.01)
H 04 M	1/02	(2006.01)
H 04 M	1/247	(2006.01)
H 04 M	1/725	(2006.01)
H 04 M	11/00	(2006.01)
H 04 Q	7/38	(2006.01)

【F I】

H 04 M	1/00	W
H 04 M	1/00	R
H 04 M	1/02	C
H 04 M	1/02	A
H 04 M	1/247	
H 04 M	1/725	
H 04 M	11/00	3 0 2
H 04 B	7/26	1 0 9 L
H 04 B	7/26	1 0 9 T

【手続補正書】

【提出日】平成18年4月14日(2006.4.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

操作を行うための操作部と、

着信に対して応答しなかったことを示す不在着信を検出し、この不在着信が検出されることに基づいて、点滅または点灯することにより、前記不在着信があったことを通知する点灯部と、

前記不在着信が検出されることに基づいて、不在着信があったことを表示し、前記操作部による所定の操作に基づいて、不在着信があったことの表示を停止する表示部とを有することを特徴とする携帯通信端末。

【請求項2】

前記点灯部は、

前記所定の操作に基づいて、前記不在着信があったことの通知を停止することを特徴とする請求項1に記載の携帯通信端末。

【請求項3】

複数種類の着信に対して応答しなかったことを示す不在着信を検出する検出手段と、

前記不在着信が検出されることに基づいて、点滅または点灯することにより、前記不在着信があったことを通知し、前記着信の種類に応じて前記点滅又は点灯の動作パターンを変えることが可能な点灯部と

を有することを特徴とする携帯通信端末。

【請求項 4】

複数種類の着信に対して応答しなかったことを示す不在着信を検出する検出手段と、前記不在着信が検出されることに基づいて、点滅または点灯することにより、前記不在着信があったことを通知し、前記着信の種類に応じて前記点滅または点灯の色を変えることが可能な点灯部と

を有することを特徴とする携帯通信端末。

【請求項 5】

更に操作を行うための操作部を有し、前記点灯部は、

前記操作部による所定の操作に基づいて、前記不在着信があったことの通知を停止することを特徴とする請求項 3 または請求項 4 に記載の携帯通信端末。

【請求項 6】

メールを受信する受信手段と、

前記受信手段によってメール受信が検出されると、受信中である旨の情報を表示するための表示部と、

前記メール受信に対してメールを開封していないことを示す未読メールが存在することを検出し、この未読メールの存在が検出されることに基づいて、点滅または点灯することにより、前記未読メールの存在を通知する点灯部と

を有することを特徴とする携帯通信端末。

【請求項 7】

メールを受信する受信手段と、

操作を行うための操作部と、

前記受信手段によるメール受信に対してメールを開封していないことを示す未読メールが存在することを検出し、この未読メールの存在が検出されることに基づいて、点滅または点灯することにより、前記未読メールの存在を通知する点灯部と、

前記未読メールの存在が検出されることに基づいて、未読メールの存在を表示し、前記操作部による所定の操作に基づいて、未読メールの存在の表示を停止する表示部と

を有することを特徴とする携帯通信端末。

【請求項 8】

前記点灯部は、

前記所定の操作に基づいて、前記未読メールの存在の通知を停止することを特徴とする請求項 7 に記載の携帯通信端末。

【請求項 9】

複数種類のメールを受信する受信手段と、

前記メール受信に対してメールを開封していないことを示す未読メールが存在することを検出する検出手段と、

前記未読メールの存在が検出されることに基づいて、点滅または点灯することにより、前記未読メールの存在を通知し、前記未読メールの種類に応じて前記点滅又は点灯の動作パターンを変えることが可能な点灯部と

を有することを特徴とする携帯通信端末。

【請求項 10】

複数種類のメールを受信する受信手段と、

前記メール受信に対してメールを開封していないことを示す未読メールが存在することを検出する検出手段と、

前記未読メールの存在が検出されることに基づいて、点滅または点灯することにより、前記未読メールの存在を通知し、前記未読メールの種類に応じて前記点滅または点灯の色を変えることが可能な点灯部と

を有することを特徴とする携帯通信端末。

【請求項 11】

メールを受信する受信手段と、

前記受信手段によるメール受信に対してメールを開封していないことを示す未読メールが存在することを検出し、この未読メールの存在が検出されることに基づいて、点滅または点灯することにより、前記未読メールの存在を通知する点灯部と、

前記未読メールの存在が検出されることに基づいて、未読メールの存在を表示し、所定の操作がなされると、未読メールの存在の表示を停止する表示部と

を有することを特徴とする携帯通信端末。

【請求項 1 2】

更に操作を行うための操作部を有し、

前記点灯部は、

前記操作部による所定の操作に基づいて、前記未読メールの存在の通知を停止することを特徴とする請求項 9 または請求項 1 0 に記載の携帯通信端末。

【請求項 1 3】

メールを受信する受信手段と、

前記メール受信に対してメールを開封していないことを示す未読メールが存在することを検出すること、または着信に対して応答しなかったことを示す不在着信を検出することに基づいて、それぞれ点滅または点灯することにより前記未読メールの存在、または前記不在着信があったことを通知し、

未読メールの存在の通知の点滅又は点灯と、不在着信があったことの通知の点滅又は点灯との動作パターンが異なる点灯部と

を有することを特徴とする携帯通信端末。

【請求項 1 4】

メールを受信する受信手段と、

前記メール受信に対してメールを開封していないことを示す未読メールが存在することを検出すること、または着信に対して応答しなかったことを示す不在着信を検出することに基づいて、それぞれ点滅または点灯することにより前記未読メールの存在、または前記不在着信があったことを通知し、

未読メールの存在の通知の点滅又は点灯の色と、不在着信があったことの通知の点滅又は点灯の色とが異なる点灯部と

を有することを特徴とする携帯通信端末。

【請求項 1 5】

着信に対して応答しなかったことを示す不在着信を検出する検出手段と、

前記不在着信が検出されることに基づいて、点滅または点灯することにより、前記不在着信があったことを通知し、前記着信中の状態と、不在着信が検出された後の前記点滅又は点灯の態様が異なる点灯部と

を有することを特徴とする携帯通信端末。

【請求項 1 6】

着信に対して応答しなかったことを示す不在着信を検出する検出手段と、

着信があると、着信中である旨を表示し、前記不在着信が検出されることに基づいて、不在着信があったことを表示し、所定の操作に基づいて、不在着信があったことの表示を停止する表示部と、

前記着信中は消灯し、前記不在着信が検出されることに基づいて、点滅または点灯することにより、前記不在着信があったことを通知する点灯部と

を有することを特徴とする携帯通信端末。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

そこで本発明はこれらの問題点を除去し、不在着信又は未読メール着信があった場合にこれらを表示させることができ、ユーザーに対し、より認識性を向上させた携帯通信端末を提供することを目的とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

【課題を解決するための手段】

本発明に係る携帯通信端末は、操作を行うための操作部と、着信に対して応答しなかったことを示す不在着信を検出し、この不在着信が検出されることに基づいて、点滅または点灯することにより、前記不在着信があったことを通知する点灯部と、前記不在着信が検出されることに基づいて、不在着信があったことを表示し、前記操作部による所定の操作に基づいて、不在着信があったことの表示を停止する表示部とを有することを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

また、本発明に係る携帯通信端末は、メールを受信する受信手段と、前記受信手段によってメール受信が検出されると、受信中である旨の情報を表示するための表示部と、前記メール受信に対してメールを開封していないことを示す未読メールが存在することを検出し、この未読メールの存在が検出されることに基づいて、点滅または点灯することにより、前記未読メールの存在を通知する点灯部とを有することを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

また、本発明に係る携帯通信端末は、メールを受信する受信手段と、前記メール受信に対してメールを開封していないことを示す未読メールが存在することを検出すること、または着信に対して応答しなかったことを示す不在着信を検出することに基づいて、それぞれ点滅または点灯することにより前記未読メールの存在、または前記不在着信があったことを通知し、未読メールの存在の通知の点滅又は点灯の色と、不在着信があったことの通知の点滅又は点灯の色とが異なる点灯部とを有することを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

また、本発明に係る携帯通信端末は、着信に対して応答しなかったことを示す不在着信を検出する検出手段と、前記不在着信が検出されることに基づいて、点滅または点灯することにより、前記不在着信があったことを通知し、前記着信中の状態と、不在着信が検出された後の前記点滅又は点灯の態様が異なる点灯部とを有することを特徴とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0038】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明の携帯通信端末によれば、不在着信またはメール着信があったことを通知する点灯装置を設けることにより、不在着信時、未読メール受信時に、各々の着信後において離れた場所からや暗い場所での確認も可能となる。更に、点灯装置の点灯又は点滅の動作状態を変えることにより、認識情報の幅を広げることが出来、本発明の応用性も向上する。